



第 48 号 2002 年 11 月

発行：萩ネットワーク協会

〒 758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

T E L 0838-25-3178 F A X 0838-26-5458

萩市ホームページ

<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/>

萩市制施行 70 周年記念の「大相撲萩場所」（日本相撲協会主催）が 10 月 26・27 日市民体育館で開催され、武蔵丸、貴乃花両横綱の土俵入りや迫力ある取組を約 4,500 人の観客が楽しみました。関連行事として県立萩美術館・浦上記念館で「相撲絵の流れ」展が開催されました。

江戸時代に活躍した上位力士たちの多くは大名から扶持を与えられて召し抱えられた藩お抱えの力士でした。萩藩お抱えの力士の中でも力上位の者は「阿武松」や「越ヶ浜」、「菊ヶ浜」など萩の地名を四股名としています。最も有名なのが、第 6 代横綱になった阿武松緑之助で、現在大井の海岸を阿武の松原といっていますが、昔は萩付近の海岸の名称でした。菊ヶ浜勝蔵は萩出身とされています。（13 ページ参照）

## 大相撲と萩

### 萩藩お抱えの力士



阿武松緑之助 (勝川春亭)



菊ヶ浜勝蔵 (落合芳幾)

11・12 月のイベント	P2
萩の新ブランド (魚、なす、竹)	P3
萩地区の市町村合併の動き	P3
萩 400 年の物語 第 12 回 (北村知紀)	P4～5
ズームアップ [西村不可止]	P5
同窓会だより	P6
めーるぼっくす (投稿)	P6
田中傳 (山口はぎ漁業協同組合代表理事組合長)	P7
萩発旬の味便り [萩のヨコワ]	P8

### 目次

紙上ショッピング	P8～9
萩おもてなし大賞受賞者 [シルバー人材センター]	P10
お店紹介 萩都市景観賞受賞「珈琲 蔵」	P10
萩観光シンボルレディー、遊歩百選「萩往還」	P11
萩国際大学学生募集、大学祭	P11
夢追人 [川原謙一郎]	P12
相撲絵浮世絵展、美術館だより	P13
情報アラカルト	P14～15
幕末・維新こぼれ話 それぞれの幕末維新 (1)	P16

# 史都萩のビッグイベント

## 萩時代まつり

今年には萩市制施行70周年を記念し、萩城跡指月公園内では毛利家が能を好んで催した史実に基づき、萩新能を開催します。

大名行列や時代パレードなど歴史のまち萩ならではの催しをお楽しみください。

### 萩新能

とき 11月9日(土) 午後4時20分  
ところ 萩城跡指月公園(小雨中止)

止

演目 仕舞「船弁慶」大島政允、能「羽衣」(喜多流)友枝雄人

鑑賞料 無料(指月公園入園料が必要)

### 萩時代パレードほか

とき 11月10日(日)

○萩民踊「男なら」披露・若国藩

十一月九日(土)

十一月十日(日)

萩新能

萩城跡指月公園

萩民踊「男なら」

若国藩

萩市制施行七十周年記念

若国藩地味地味本演

同時開催

萩市制施行七十周年記念

萩市制施行七十周年記念



大会(午後1時)

ほか

10日(日)

多彩一萩広

域芸能祭

(午前10時)

ほか

9日、10

日

各種物産販

売(午前10時)

、市役所周辺、市

民館小ホール、総合福祉センター

前広場)

問い合わせ 萩広域ふる

さとまつり実行委員会

(0838・22・3803)

### 長州とことん総踊りin萩

山口きらら博メモリアルリレー

イベントが県内8か所で開催され

ています。萩広域では、萩市役所

第3駐車場を主会場に萩広域の若

者が中心となり、「長州とことん

総踊りin萩」が開催されます。

よさこい踊りやトコトナヤレ

節、男ならなどの踊りが披露され

ます。

皆さんぜひご参加ください。

とき 11月10日(日) 午前9時

30分〜午後4時

ところ 市役所第3駐車場ほか

問い合わせ 萩地区広

域圏市町村組合事務局

(0838・22・3803)

## 長州とことん総踊りin萩

### ポスター

### 全国街道交流会議萩大会

「萩で未知づくり」をテーマに、

第1回の全国街道交流会議が萩市

で開催されます。

とき 11月23日(祝) 午後1時

30分〜6時

ところ 萩国際観光ホテル「楽天

池」

入場料 無料

内容

●記念対談「街道―つつくしき

日本の道」

大石久和(国土交通省道路局技

監)、川勝平太(国際日本文化研

究センター教授)

●分科会

第1分科会「交流観光と街道」第

2分科会「街道ナビゲーションシ

ステム」第3分科会「街道文化・

くらし文化の伝承」第4分科会「松

陰街道の連携」

主催 全国街道交流会議

問い合わせ 萩市企画課企画第1

係(0838・25・3102)

### 全国から集まった

### 選手達にご声援を!

今年には日本を代表するマラソンランナー谷口浩美選手(バルセロナ五輪8位入賞、アトランタ五輪出場)がハーフマラソンの部に特別出場し大会を盛り上げます。

とき 12月15日(日) 午前8時〜(受付開始)、午前9時〜(開始式)

ところ 萩スタジアム(受付)

種目

■ハーフマラソンの部(午前10時〜、21・0975km)

コース 萩ウェルネスパーク〜指月公園折り返し

■ファミリーの部(午前10時5分〜、2km)

■10kmの部(午前10時15分〜)

■5kmの部(午前10時25分〜)

■2kmの部(午前10時30分〜)

問い合わせ 維新の里萩城下町マラソン大会実行委員会事務局(0838・25・5519)



日本海、秋沖の逸品！

## 萩の魚ブランド

### ■萩のけんさきいか

けんさきいかは、いかの女王と呼ばれ、ほんのりと甘味がある肉厚の身は実においしく、口の中っぱいに甘さが広がり至福感を味わうことができます。

けんさきいかの活き造りは、萩の名物料理のひとつになっており、最近ではこれを目当てにした他県からの観光客も非常に多くなっています。また、スルメに加工されたときは、「一番スルメ」と呼ばれるほどで、その需要価値は高いものがあります。

### ■萩の瀬つきあじ

萩の瀬つきあじは、九州五島列島西沖で生まれ対馬暖流に乗り、日本海は秋沖に來遊します。秋沖の豊富で良質な餌を食べ成長し体は潮にもまれ、身がしまりおいしい瀬付きあじになります。

### ■萩の甘だい

江戸時代以前から高級料理の素材として食われてきた甘だい。萩に水揚げされる甘だいは、対馬沖から浜田沖にかけての海域、特に見島沖で多く漁獲されます。

漁場が近いこともあり抜群の鮮度なので、萩沖の甘だいは日本一の品質、高級魚として高い評価を得ています。

たまげた！ 大きい!! 美味しい!!!

## 萩の新名物 萩たまげなす！

かつて長門市で栽培されていたジャンボナスの一種である田屋なすを「萩たまげなす」と命名し、今年から3年計画で栽培技術の確立と普及拡大を図っていきます。また「萩たまげなす」の試食会（萩市彩りの伝統野菜振興協議会主催）が9月27日に開かれました。

「萩たまげなす」は実が大きくて美味しく種が少ないのが特徴ですが、他のなすより収量が少ないので、今後は収量のアップを目指していきます。



長さ 30 cm、重さ 500g を超える萩たまげなす

## 萩の竹ブランド化推進協議会設立

### 竹製品で萩をPR！

萩地域の竹を使った新たな産業興しを目的に10月8日、中間法人「萩の竹ブランド推進協議会」が発足し設立総会が開かれました。

この協議会では、竹材を活用した商品の研究開発、竹炭や竹製品の普及PR、販路開拓などを展開してまいります。

萩地域の竹は、強度、粘りとも優れているといわれており、竹材を活用した観光土産品の製作販売を進めていきます。



萩の竹を使った商品の一部

## 市町村合併の動き

萩市と3町4村（川上村、阿武町、田万川町、むつみ村、須佐町、旭村、福栄村）は、7月30日、合併に関する具体的な調査研究や議論を深めるため「萩広域市町村合併調査検討協議会」（任意協議会）を設置しました。

8月22日 第2回「合併重点支援地域の指定に向けた協議」

市町村合併の検討協議を進める上で財政的な支援が受けられる県の「合併重点支援地域」の指定に向けた協議を行いました。

9月7日 第3回「田万川町退会」

田万川町から協議会を退会した旨の申し入れがありました。田万川町は島根県に接し、萩市との物理的な距離があり、また生活圏が益田市であることから、町議会特別委員会において全会一致で退会を決定されました。

9月20日 萩市市町村合併講演会、地区別説明会

野村萩市長による萩地区の合併の現状や将来ビジョンの説明と市町村合併先進地の講師による基調講演がありました。

また、9月26日から「市町村合併地区別説明会」を市内の小学校区ごとに10か所で開催しました。

9月27日 第4回「市町村合併の基本項目の概要説明」

合併の基本4項目である「合併の方式」、「合併の期日」、「新市の名称」、「事務所の位置」について概要説明を行いました。

10月7日 県の合併重点支援地域に指定

田万川町を除く1市2町4村の市町村長が県庁を訪問し、野村萩市長が代表して、合併重点支援地域の指定申請書を二井知事に手渡しました。県内では、周南地域、大島郡4町、長門地域に続き、4か所目の指定となります。

10月15日 萩広域合併推進市民会議発足

萩市内の主な団体や市民からなる萩広域合併推進市民会議が発足しました。市民会議は、萩市内の各種団体110団体で構成され、民間の立場から合併を推進し、市や協議会にも提言してまいります。

9月27日 第5回「基本4項目の協議」

合併の方式は新設合併、また合併の期日は平成17年3月31日まで早い時期ということで承認されましたが、新市の名称、事務所の位置については、引き続き検討することになりました。



## 佐野道可事件とは何か

歴史にはしばしば奇っ怪なことが起きる。関ヶ原戦から14年、余命少ない徳川家康は豊臣氏の最後の息の根をとめるため大坂の陣を起す。天下の大名が動員され毛利氏も大坂城を囲むが、なんと輝元はその大坂城に豊臣秀頼へ味方させるべく一人の重臣を密かに送り込んでいた。名前を変えさせ、兵糧米1万石に替わる黄金5百枚を与え、因果をふくめて籠城させた。藩主ら数人が関知するだけの秘事だったが、露頭し毛利家は再び危ない橋をわたった。佐野道可事件である。なぜこのような奇妙が起きたのか。そこに輝元の「関ヶ原後遺症」とでも呼ぶほかない豊臣への情と徳川への怨があったように思える。

萩に豊国大明神を建てたい

関ヶ原以来、輝元の心中には豊臣家へのよほど強い思いが残ったようで、実は、これより8、9年前にもこの事件の先づきのような騒ぎが生じている。江戸後期にまとめられた萩藩の『古老物語』が伝える話だ。

「今、堀内の春日社の所へ豊国大明神を建立したいとお考えだったが、天下向き悪しく聞かぬ候故、この春日をお引かせなら候由」

豊国大明神は当時、秀吉の嗣子秀頼が父をまつるため京都に創建して間もない神社だったが、この大坂陣のあと家康が取り潰す。

そんな神社をこともあろうに萩城三の丸に建てるなど、家康や幕府にどう思われるか。下手をすればやっとり留めた領国が没収されかねない。殿は何を言い出すのか。「天下向き悪しく聞かぬ候故」に、青くなり必死に主君を諫めた家臣たちの姿がうかがう。

佐野道可は一門筆頭の実弟内藤元盛

佐野道可の事件を『萩藩関ヶ原録・内藤孫左衛門』を中心に見てみたい。主君輝元の命により名を佐野道可と改めて大坂城に入ったのは内藤修理大夫元盛。防長の名族内藤氏を継いだ、一門筆頭・穴戸元統の実弟、二重の縁で毛利氏の姻戚だった。

「慶長十九年大坂表、一乱の時、ご内證に段々旨趣これあり。輝元公よりご誓詞下しなされ、秀頼公のお味方として、姓名を改め佐野道可と号し、大坂籠城つかまつり候」

その輝元の誓詞には、①今度元統を以て頼んだ事、分別して上坂され神妙の至り。生々世々忘れない。約束した事は必ず守る ②嫡子の本家は勿論、その兄弟の分家まで将来と



輝元が重臣を佐野道可と変名させて送り込んだ大坂城本丸(『大坂夏の陣図屏風』より)

あつたという。

才覚したのは輝元、

漏洩して危機まねく

輝元が道可の大坂籠城を相談したのは、関ヶ原で主戦派だった執政秀元(長府藩主)と藩主である息子秀就、道可の兄で周旋役の穴戸元統ぐらいたつたらしい。反対されることと漏洩を恐れたのである。

だが、こんな法外なことが他に漏れないはずはない。大坂夏の陣の直前、元和元年(1615)4月、一族・重臣間に知られ、大問題になる。ことに関ヶ原戦で吉川広家と共に和平に働いた宿老福原広俊の怒りと心配は強かった。彼は前年の冬、いち早く探知して秀元を質し、「知らない」と白を切られていた。広俊が広家へあてた手紙に、「この儀世上漏ればお家の一大事です。(秀元は)いらざるご才覚立て、失敗して万事この調子です。関



豊臣氏への負い目と関ヶ原戦の心の傷痕をもち続けたとみられる毛利輝元(『毛利輝元卿伝』より)

道可と二子を切腹させ危機免れる

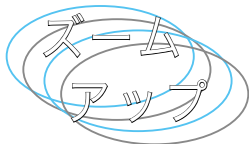
佐野道可が大坂に籠城し落城の際に逃走したことは家康にも知られる。徳川方は道可を逮捕して差し出さなければ、輝元が籠城させたと解すぞと脅す。福原広俊が懸念した毛利家の危機が現実になる。

毛利家は諸方を探索、京都に潜んでいた道可を見つけて切腹させ、首級を差し出した。それでも心配な輝元は、さらに道可の息子2人を国元から上洛させ、家康の処断を仰がせた。家康は2人は関わり無しと認め帰国させる。

ところが、輝元はなおも不安にかられ、2人をそれぞれの領地で自刃させる。この処置は幕府をも驚かしたようで、大目付柳生宗矩は「一入痛ましき計に候」ともらした。

なぜ輝元は道可を大坂城に入れたのか。「情誼に厚い卿の秀頼への同情の発露」(『毛利輝元卿伝』)、豊臣への忠誠心がいわれる。また、数年持ち堪えれば家康の寿命も尽き大坂方勝利の目があるやもと考えた、ということがあった説もある。

しかし、大国の統領として軽々しく情に流



## 西村 不可止 氏

(広島市東区在住、昭和39年秋高卒)



◀今年の萩市美術展に出品された氏の作品「I・T」(萩地区広域市町村圏組合長賞)



▶毛利輝元は初めこの萩堀内・春日社の地に秀吉を祀る豊国大明神を建てようとした(『八江萩名所図画』より)

も見捨てず取り立てるから安心してくれ ③  
大坂ではどんな事があってもお互い申し通じてはならない。城中の首尾、然るべきよう頼み入る——とある。  
豊臣方勝利のときは10力国を与える約束も

### 紫福の思い出

ケ原の時、貴公様お氣遣いでご両国を安堵したのに、この度また際とお家を失われ候……と、毛利家の危機を訴えている。  
文面は、輝元を直接責められないから、秀元に矛先を向けているのだろう。

されて独り相撲をとり、家臣に無用な犠牲を強いたという非難は免れないだろう。やはり、関ヶ原のトラウマ(精神的外傷)を引きずっていたという気がする。(つづく)  
郷土史家 北村 知紀

紫福(現福栄村)で生まれ、18歳になるまではずっと紫福でした。小学校から中学校卒業まで一クラスでした。そのせいかまとまりがよく、中学校の同期会は今でも4年に一度開催されますが、出席率は50%以上です。その中学校も数年前統合され、かつての学舎は今もあともありません。  
いまでも毎年田植えには帰っています。両親と弟が水回り、防除等を行っています。なにせ道路が整備されたおかげで広島から2時間半の行程です。

紫福の思い出  
だいたようです。  
その後、赤○辰也氏、富山侃氏他、多数の方々の大変なご苦労とたゆまないご努力で第一回設立総会を開くことができました。この時の出席者は66人でした。初代の会長は小松達雄氏です。その後、大野綱之氏、楊井昭夫氏と継がれてこられました。詳しくは「広島指月会」ホームページにあります。  
「広島指月会」ホームページ  
<http://homepage2.nifty.com/pisalomo/hirosmasuzukikai.htm>

私の近況  
残り少ないサラリーマン生活です。毎日あくせくしていますが、休日には絵やパソコンを楽しんでいます。  
絵でいえば15年前から公募団体「元陽会」に毎年出品し、東京都美術館、広島県立美術館、今年から大阪市立美術館で展示しています。また秋市美術展にも10年前から出品し、最近は国民文化祭にも出品しています。  
絵を描くにあたり、先輩から「絵は何を描くかでなく、その絵を通じて何を言いたいのか」との言葉を大切に、一枚一枚絵と向き合ってきました。  
アナログ派の絵に対し、デジタル派も楽しんでます。IT企業に3年間勤務したせいか、コンピュータには慣れており、現在、インターネット上で私がウェブマスターをしているホームページが3つあります。YAHOOで「西村不可止」と検索すると出てきます。一度見ていただければ幸いです。  
アナログの中にデジタル感覚を、デジタルの中にアナログ感性を、絵を通じての自己表現が私のライフワークかも知れません。  
■プロフィール  
昭和39年秋高卒、日本電信電話公社(現NTT)入社、昭和63年NTTデータ通信(現NTTデータ)分社に伴い移籍、現在中国支社に勤務。広島指月会副会長、絵画団体元陽会広島支部長、中国地区品質経営協会運営委員。



河野勉さん（山口県出納長）の音頭で乾杯

## 10月19日 たちばな会総会

萩商体育館

今年の総会引き受けは、昭和41年、51年、61年、平成8年の卒業生。川原輝彦理事長が、あいさつのなかで、初めての女性支部長となった中原洋美広島支部長を紹介。前号の萩ネットワークに掲載された彼女の寄稿に触れ、「同級生（昭和49年卒）が甲子園に連れて行ってくれたことに感謝している」ことが書いてあり、胸を打たれた、こういう気持ちで明日への活力になる、とあいさつされました。

事務局は秋商業高等学校同窓会事務局 ☎0838・57227

## 10月18日 山口指月会総会

翠山荘（山口市）

91人出席。木橋教頭から今年度から単位制を導入したこと、合唱部、柔道部が全国大会に出場したこと、報告がありました。今年も吉村昇二さんの司会でビンゴ大会

が行われ、盛り上がりました。事務局は山口県広報広聴課 西公男（昭和42年卒） ☎0833・9333・2570



校歌斉唱

## 10月19日 東京指月会

KKRホテル東京（千代田区）

170人出席。今年は35回目の記念大会。母校・萩高校に日本画を寄贈した内田青虹さんに感謝状が贈呈されました。内田さんは秋高昭和28年卒で、西東京市在住。日本画は、本館2階図書室前に展示されています。今年の同窓会引き受けは24期（昭和47年卒業）。

萩から駆けつけた同期の有富美子さん（萩高教員）の独唱があり、新しい萩市のうた「萩のなないろ」など披露されました。事務局は川淵正臣企画事務所内 ☎033407・6669



有富美子さんと校歌斉唱

## 9月21日 広島指月会

ホテルグランヴィア広島（広島市）

54人出席。前会長の太野綱之さん（昭和32年卒）が奈良県に帰郷されたため、新会長に楊井昭夫さん（昭和32年卒、ホテルグランヴィア常勤監査役）が選任されました。萩から駆けつけた陽信孝さん（昭和32年卒、金谷天満宮）が現在ベストセラーになっている著書「八重子のハミング」を福引の景品としてプレゼントされました。事務局は赤崎辰也（昭和54年卒） ☎082・870・2081



中央が新会長の楊井昭夫さん

## めーるぼっくす

明倫小学校 昭和28年卒業（卒業後50年目）1部6年4組の同窓会を箱根で開催！

参加者全員、ジャーガー降りの中での自宅出立でしたが、日頃の行いの良い？晴れ女・晴れ男22人の箱根ご到着でした。

山口県の萩方面から来る人達は、2日間で自動車、飛行機、新幹線、登山電車、ケーブルカー、ロープウェイ、船、バス、電車とあらゆる乗り物を利用したことになります。

オークションでは同級生の井上春卯君の「書」による掛け軸、色紙、陶板、花瓶などすべて完売！1作品に4〜5人も希望者が出て、「最初はグー！ジャンケンポン！」で決めさせて貰いました。まあ、賑やかなこと、賑やかなこと。受付の時から歓談！歓談！歓談！乗り物に乗ってもクツチャベツテました。幹事の話も耳に入らない！「先生がいつも怒鳴ってたのが、今ようやく解ったよ」で大爆笑！ホテルの人もこんなに和気藹々で、元気な同窓会は初めて！？と感心してくれていました。お陰様で盛況裡に終えることが出来ました。（千葉県 多田耕弥）

山口はぎ漁業協同組合代表理事組合長

## 田中 傳つたえ氏 (67歳) 萩市東浜崎町在住

平成13年4月に阿武・萩地区の14漁協が合併、3000人を越える組合員数で全国最大規模の漁協となった。今年7月

1日、組合長に就任した田中氏にお話を聞きした。

### 中学卒業後漁師に、 26歳で船頭の頭に

中学を出て、家業を継ぐためにすぐ漁師の修行に入りました。26歳の時に大福丸の船頭となり、20人程の漁師を統率する立場を任せ、平成元年には、萩市大島漁業協同組合の組合長となりました。2期5年間、組合長を務め、その間に隔週土曜日をまき網船の休漁日にすることで、若い漁師が定着できるようにしたり、歩合制が普通だった漁師の給料を固定給制に

したり、当時としては思い切った施策を取ってきました。今でも大島支所(旧・萩市大島漁協)の漁師の年齢は若く、活気があり、水揚高も萩・阿武管内で最大となっています。平成6年に退任し、その後一時期、組合の理事を務めた時期もあったのですが、しばらく漁協の仕事からは離れていました。今年の春、急ぎよ、合併組合(山口はぎ漁業協同組合)の組合長就任の打診があり、非常に迷ったのですが、お引き受けすることにしました。

### 改革改善は、まず現場の 意見に耳を傾けることから

阿武・萩地区の14の漁協が合併してまだ一年とちょっと。この4月には魚市場の統合・新市場の開場もあり、組合員にとっても、漁協にとってもまさに激動激変の日々でした。各旧単協の地域性やそれまでの運営方針や経営状況など、それぞれに特有の事情もあり、一つの組織体としてしっくり馴染むまで、ある程度時間がかかると考えています。統合された新魚市場にしても、水揚高は計画通りに推移していますが、運用面で見ると課題山積といった状況です。こういった課題を解決していくためには、やはり地道に組合員の顔を見て、直接話をし、話を聞くことが何よりも重要と考えています。組合長就任後、各支所を廻り、組合員から直接話を聞き、課題を整理しているところです。一部で報道されたように、「1県1漁協」の話も現実のものとして動き出しています。「組合員の納得を前提として動く」これが私自信の信念ですので、この件に関して、十分話を尽くして行こうと思っています。

### 至誠天に通ずる

若い頃からの座右の銘は、吉田松陰先生の「至誠天に通ずる」です。正直に生きていけば、たとえ

新市場で開催された第7回萩・魚まつり。このイベントの実行委員長も田中氏。当日は3万3000人の人出で賑わった。



の地元を養育だけを考慮する傾向が強いのではないだろうか。地元への利害も大事ですが、同じく地域の重さで地域全体を見て、町づくりを考えていくべきだと感じます。その意味で、今回の市町村広域合併はひとつの良い契機となるように思います。またそうしないと、合併のメリットも薄くなるのではないのでしょうか。(談)

### ◆プロフィール

昭和10年10月10日、萩市大島生れ。大島中学校を卒業後、家業を継ぎ漁師に。26歳で大福丸の船長。平成元年から5年まで、萩市大島漁協の組合長を勤め、本年7月に山口はぎ漁協の組合長に就任。

## ★インターネットで萩の特産品を気軽にお買い物★

萩の名産特産インターネットショッピングサイトも続々登場。アドレスをご紹介しますので、ぜひご利用ください。

- 電子本舗（はぎ） <http://www.haginet.ne.jp/users/hagi/>  
萩商工会議所 青年部が運営するショッピングモール
- たけなか <http://www.hagi-s.com/takenaka/>  
夏みかんゼリー「柑乃掣」の販売
- 萩しーまーとモール <http://www.kfdlab.com/~fish/>  
「道の駅」萩しーまーとの総合ショッピングモール
- 萩発ふるさとおさかな便 <http://www.d1.dion.ne.jp/~sun0399/>  
萩のお魚を全国発送
- 萩ふるさと宅配便 <http://www.hagikura.com/>  
萩の名産品の数々

- みどりや <http://www.mishimaushi.com/index.htm>  
見島牛・見蘭牛の専門サイト
- 樫八商店 <http://ww5.tiki.ne.jp/~sugihati/>  
一夜干しやいりこなどの海産物
- たつち商店 <http://www.joho-yamaguchi.or.jp/tatuchi/>  
干物や海草など萩の海産物
- 彩陶庵 <http://www.saitoan.com/>  
萩焼の専門サイト
- 山口萩ビール株式会社 <http://www.hagibeer.co.jp/>  
萩の地ビール「チョンマゲ」を直売
- 株式会社柚子屋本店 <http://www.sonjuku.co.jp/>  
地ビール「村塾」や夏みかん加工食品、ぼん酢を直売

## 21 はぎ市民会議の動き

萩の町を、市民自らの知恵と汗で良くしていこうと今年7月にスタートした「21 はぎ市民会議」。発足式以来、8つの部会で活発な議論が交わされている。来年3月には部会単位で提言が行われる予定。

**観光部会** 町じゅう博物館構想を具体的なものとする各種施策を議論。

**教育部会** 幼児期・少年期・青年期に分けて、現状の子供達をとりまく課題を整理中。

**生活部会** 人口の流出が問題となる中、若者定住をメインテーマ。

**産業部会** 萩の持つ豊富な海山の資源を活かし、農水産を中心とした一次産品の販路拡大や商材開発等を議論。

**環境部会** 今後大きな問題となるゴミについてをテーマに。

**国際化部会** 萩市における外国人在住者の増加に伴う良い面・悪い面の整理と、現状の課題を整理。

**情報部会** 図書館のDB化・ITと教育の関係・SOHOビジネスのネットワーク化などを議論。

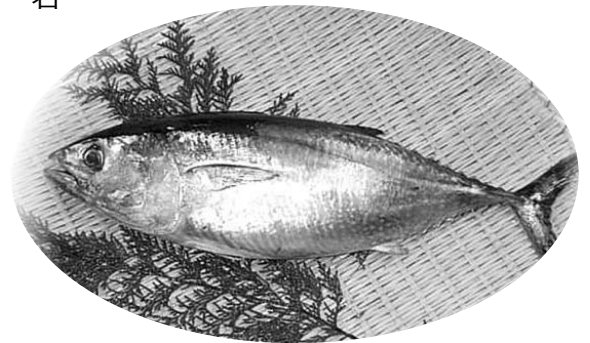
**福祉部会** 独居老人のサポート・子供と老人の交流・子育て支援などを検討中。

一本丸ごとがお買い得  
マグロは切身ブロックで買うのが普通ですが、萩ではスーパードでも一本売りは珍しくありません。もちろん店頭でお願いすればブロックにしてみらうこともできます。お刺身を楽しんで、煮付け

萩沖見島は日本有数のマグロ漁場  
萩沖約50kmの沖合いに浮かぶ秘島「見島」は日本有数のクロマグロ漁場。毎年晩秋から冬場になると、大型のクロマグロが回遊しています。この11月末にはクロマグロトーナメントが開催され、全国から大物釣師が集まります。魚市場には、10月の初旬からヨコワと呼ばれるマグロの若魚が水揚げされ始め、11月から12月にかけて5〜10kgクラスが店頭に並びます。若魚といっても冷凍モノではない生鮮マグロ、鮮度の良さはもちろん、脂の乗りもよく赤身もジューシーで、地元でも人気があります。

萩のヨコワ  
魚（本まぐろ若魚）

萩発旬の味便り



マグロの漬け丼(ヨコワ切身・調味料・薬味) 何といっても生鮮のマグロ、鮮度が良いので定番のお刺身がお勧め。一本売り、もしくは片身売りなので、量もたっぷり、赤身のジューシーさと、脂の乗った腹身を同時に楽しめます。また、人気があるのがマグロの漬け丼。赤身の切身をお醤油と味噌・清酒のタレに漬け込み、冷蔵庫で1時間程度寝かせます。醤油・味噌・清酒が基本、甘めが好きの方は味噌を増量などお好みで。あとは温かいごはん、もしくは寿司飯の上に切身を盛って、浅葱・刻み海苔を振って、ワサビを利かせて召し上がります。

### 【お勧めメニュー】



にしたり、ステーキにしたりと、たっぷり味わえるのが魅力です。11月から12月の萩現地での店頭価格は漁にもよりますが、6〜7kgクラス（70cm級）が一本5000円前後です。「道の駅萩しーまーと」（08388・24・4937）などでは、全国発送もしており、12月になると関東関西の料理店宛に送って欲しいという個人のお客さんの注文が多くなるようです。



## 今年のお歳暮は、ふるさと萩の名産を

お歳暮の季節となりました。お世話になった方のために、あれこれと商品選びをされている方も多いと思います。このページでは、昨年4月にオープンした萩の旬市場『萩しーまーと』の商品の中から、季節の贈り物に適した詰め合わせを紹介します。なお、ネットワーク会員特典として定価の一割引にて販売します。(注 表示価格は1割引後の価格です)



商品番号A  
極上お漬物セット  
価格 3,700円  
(送料・税込)



商品番号B  
萩の前浜セット  
価格 3,800円  
(送料・税込)



商品番号C  
ふぐ鍋・ふぐ唐揚げセット  
価格 3,400円  
(送料・税込)



商品番号D  
まごころセット  
価格 4,300円  
(送料・税込)



商品番号E  
ふくたたき料理セット  
価格 1万1,500円  
(送料・税込)



商品番号F  
とらふく料理セット  
価格 2万500円  
(送料・税込)



商品番号G  
鮮魚詰め合せ【冬の旬】  
価格 3,800円  
(送料・税込)



商品番号H  
萩の地酒5本セット  
価格 4,200円  
(送料・税込)



商品番号I  
一夜干し詰め合せ【冬の旬】  
価格 3,600円  
(送料・税込)



商品番号J  
ふく三昧  
価格 3,400円  
(送料・税込)



商品番号K  
ヤーコン茶王(2箱セット)  
価格 4,700円  
(送料・税込)

### ◆申込方法

下記の事項を記入の上、官製ハガキもしくはFAX、E-mailで申し込んでください。

- ①商品名・個数
- ②届け先の氏名・住所・電話番号
- ③依頼主の氏名・住所・電話番号
- ④熨斗の有無(有の場合は表記)
- ⑤配送時期の希望(希望無の場合は12月上旬の出荷)

### ◆申込み・問い合わせ

〒758-0011

山口県萩市椿東北前小畑 4160-61

道の駅『萩しーまーと』萩ネットワーク係

TEL 0838・24・4937

FAX 0838・24・1192

E-mail: fish@pop11.odn.ne.jp

### ◆代金支払方法

お申込みと同時に下記まで代金をお振込みください。振込確認後、商品を発送します。

○山口銀行 萩支店 普通 6229675

ふるさと萩食品協同組合

○萩信用金庫 浜崎支店 普通 0107792

ふるさと萩食品協同組合

※ふるさと萩食品協同組合は道の駅『萩しーまーと』の事業主体です

# 第4回 萩おもてなし大賞受賞

## 萩広域シルバー人材センター観光ガイド班

萩市を訪れた観光客に対してまごころのこもったおもてなしを実践している個人や団体を表彰する「萩おもてなし大賞」にシルバー人材センターのガイドさん21人が選ばれました。(萩おもてなし推進協議会主催)

代表して阿武キヨ子さん(70歳)と能美恭子さん(66歳)にお話をうかがいました。

阿武さんは保育園の園長先生を10年前に退職し、観光ガイド班がスタートして以来キャリアア7年



左から阿武キヨ子さん、能美恭子さん

のベテランガイドさんです。取材前のほんの一瞬、手水鉢に生けてある花をさりげなくおされました。

阿武さんは、「私が担当しているのは湯川邸ですが、この案内だけではなく、地元にならわっているようなお話などを入れながら彩りのあるガイドを心がけています。萩らしいといわれるようなガイドを目指しています」と話されていました。

桂太郎旧宅のガイド

をされている能美さんは、普通の主婦から健康のためにと、この仕事を始められたそうです。

能美さんは、「ガイド歴はまだまだ浅く4年目です。一番うれしいことは、『来てよかった』『また来ます』と言われることです。親しみを持って接しているとお客さんも自然に入り込んできて、いろんな話に発展していくこ



旧湯川家屋敷でガイドをする阿武さん

ともたびたびです。これからもできるだけ多くの方に『また来ます』といっただけの案内をしていきたいです」と話されていました。

お二人に共通するのは大変な勉強家であること、そして常に細やかな心遣いをされていることです。「おもてなしは、花を一本生けるといような大げさではない、本当にさりげないことで、よい印象を与えることだと思えます。」という阿武さんの言葉が印象的でした。

お店紹介  
萩都市景観賞受賞!!

## 「珈琲蔵」

今年の4月にオープンし、9月までに来客数が10000人を超え、さらには萩都市景観賞まで受賞した喫茶店。

オーナーの吉松省三さん(62)は北九州の大手運輸会社を退職後、老朽化していた萩の家を解体するという話をきっかけに故郷に戻り、喫茶店を始めようことを決意。家族の反対を押し切りこの店を始めたそうです。「正直なところ意外な反応でした。常連客が多く、おかげさまでうまくいっています」と吉松さん。



こだわりのブレンドコーヒー、ご主人担当の厳選材料の焼きたてパン、そして奥様担当の手作りケーキが人気メニュー。パンは1日3種類。あんパン、じゃこパン、紫芋のパンなど毎日変わります。ケーキは「焼きチーズケーキ」がオススメ。

◆「珈琲蔵」データ

住所 萩市南片河町56

☎0838・21・1007

営業時間 午前10時30分〜午後6時



吉松さんと奥様の英子さん

# 決定！ シンボルレディー 萩観光

平成14年度（第11回）萩観光シンボルレディーが決定し、10月4日に（社）萩市観光協会から認定書が交付されました。

今回、桂木美和さん（土原／萩公共職業安定所）、久保田有香さん（大井後地／萩市役所）、中原千尋さん（中津江／萩国際大学生）、納富尚子さん（青海／有大華山鳥雲）の4人が選ばれました。

任期は2年間で、観光都市・萩の顔として全国各地で観光宣伝を行います。

萩市役所観光課に勤務する久保田さんは、「シンボルレディーはいろんな場所を訪れ、たくさんの人に出会えることに魅力を感じて応募しました。まだ活動をしていませんが、交付式で制服を着るとやる気ができました。これからは、萩市のことをもっと勉強し、多くの方に萩を知っていただくため元気にPRしていきます。」と話していました。



左から桂木美和さん、久保田有香さん、中原千尋さん、納富尚子さん

# 遊歩百選に 「萩往還」

「萩往還」が、全国を対象に選定された「遊歩百選」（読売新聞社主催）に選ばれました。全国588の市町村と14団体から804の遊歩エリアが推薦され、県内では「秋芳洞、秋吉台」ともに選定されました。

「萩往還」は1604年の萩城築城後に萩から防府三田尻までをほぼ直線で結ぶ53kmの参勤交代の道として開かれた。唐樋町の札場を起点として明木までの約5.6kmの沿線には、涙松跡、悴坂一里塚、大屋刑場跡など遺跡が点在し、平

成年年には国の史跡に指定されました。

また、平成8年には「歴史の道百選（文化庁主催）」に選定、本年1月には「夢街道」（夢街道ルネサンス推進会議主催）認定も受けています。

野村萩市長も、「昨年8月に関係4市町村が『歴史の道「萩往還」連絡協議会』を設立し、日本一のウォーキングロードを目指して整備・活用を図っています。全国の皆さんのお越しをお待ちしています。」と話されていました。

## 萩国際大学学生募集！

募集人員 【国際学科】140人 【経営情報学科】160人

■選抜日程（両学科共通）

入試区分		選抜方法	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜	前期日程	学科試験、書類選考	1月8日 ～1月28日	2月2日(日)	2月7日
	後期日程	小論文、面接、書類選考	3月10日 ～3月31日	4月3日(木)	4月5日
大学入試センター試験を利用する選抜	前期日程	学科試験、書類選考 ※萩国際大学の個別学力検査等は無し	1月14日 ～2月7日	/	2月20日
	後期日程		3月24日 ～4月2日		4月5日
社会人特別選抜	A日程	小論文、面接、書類選考	11月1日 ～11月20日	11月24日(木)	11月29日
	B日程		3月10日 ～3月31日		

出願書類の請求と提出先 〒758-8585 萩市椿東浦田5000番地  
萩国際大学入試センター（0838・24・4000）

## 萩国際大学大学祭 紅紫祭

11月16日～17日

萩国際大学の最大のイベントの1つである大学祭「紅紫祭」の季節となりました。4回目の今年は全学年そろっての大学祭となります。

### 内容

イベント 写真展示、おしゃべりコンサート（ピアノ演奏とトークのコンサート）、女台場ライブ、チャリティバザー、映画上映会  
野外ステージ 萩国バンドライブ、バンド対決、子供太鼓（新川保育園園児）  
子供向けイベント 水風船  
わなげ  
弁論大会 日韓中弁論大会



「萩・松陰隊」総長

川原謙一郎氏 (39歳)

(萩市中小畑在住 昭和54年萩商卒)

萩市内で衣料専門店の社長として活躍するかたわら、昨年9月に誕生した「よさこい踊り」チーム「萩・松陰隊」の総長として萩から元気を発信している川原さんにお話を伺いました。



10月13日萩・魚まつりの会場

### よさこいとの出会い

萩・松陰隊の結成は昨年の9月でした。きっかけは、その年に開催されていた「山口きらら博」のイベントに、山口県商工会議所青年部連合会で「よさこい踊りをやってみよう」ということになり、萩からは当時の萩商工会議所青年部メンバーで参加しました。イベント当日、出番が一番最後のフィナーレというラッキーもあって、ステージと観客席がまさに一体となり異常なほどに盛り上がりました。素人の自分達の踊りが、集まった多くの人の感動を呼び、会場がひとつになる、大げさではなく、本当に鳥肌が立つほど、自分自身も仲間達も感動しました。まさに味をしめたといった感じですよ。

### よさこいブームで

#### 萩を活性化

その感激が原動力となって、当日のメンバーに数人に加え、20人の所帯で萩・松陰隊を結成、話が出たときの萩商工会議所青年部の会長ということもあって、総長を引き受けることになりました。その後、市内の各行事や県内のイベントに駆り出され、今では約100人のメンバーとなりました。隊員の年齢は上は57歳から下は4歳まで幅広く、さらに今年の6月には、小中学校生だけで構成する萩・松陰隊キッズ(20名)も結成しました。

よさこい踊り自体もちょっとしたブームとなり、萩市内でも小学校の運動会のアトラクションとして複数の学校でよさこい踊りが生徒達によって演じられました。隊員は10代後半から20代の若者も多いのですが、非常に激しい身体の動きがある踊りですので、元気を持って余した若者達のストレスを良い意味で発散する「場」づくりになっているようです。

### 萩・松陰隊を

#### 全国にアピール

これまでによさこいの本場・高知県や韓国への遠征もありました。活動範囲は山口県内に留まっています。今後はどんどん県外に出かけていき、萩の元気をアピールしたいと考えています。また、現在市内には萩・松陰隊のみですが、分派を作ったり、新たなグループの結成を手伝ったりしてグループを増やし、市内で対抗戦ができるようにしたいと思っています。今年の11月9日・10日に行われる「萩・広域ふるさとまつり」にも「長州とことん総踊り大会in



「萩・松陰隊」の総長・川原謙一郎氏 (よさこい踊りの衣装で)

萩」と銘打って、日頃の練習成果を披露、観客と一緒にあって、萩の秋の一日を賑やかに彩りたいと張り切っています。いずれにしても、「踊る人・観る人みんなが一緒に元気になる」、これがよさこいの魅力ですね。

#### ■プロフィール

昭和38年2月16日萩市生まれ。萩商業高校から大阪経済法科大学を卒業後、大阪のアパレルメーカーに就職し、26歳で萩に戻る。現在、衣料専門店「サンパルコ」の代表取締役社長。萩商工会議所青年部会長(平成12年度)、21はぎ市民会議委員(教育部会)、椿東小学校PTA役員ほか

# 相撲絵 浮世絵展

大相撲・秋場所に合わせて、相撲絵の浮世絵展を開催しました。  
この展覧会は、県立秋美術館・浦上記念館収蔵作品の中から、相撲絵としては初期にあたる安永期（1772～1780）から明治までの作品23点を展示し、相撲絵の歴史を概観しました。

江戸で暮らす人々にとって最大の娯楽といえば、芝居（歌舞伎）と相撲でした。それまで大坂で盛んであった相撲の中心地が江戸に移るのが、安永・天明期（1772～1788）の頃。寛

政一年（1789）には谷風権之助、小野川喜三郎という強豪力士が第四代、五代の横綱免許を同時に与えられます。初代から三代までの横綱は伝説的な人物でしたので、谷風が事実上の初代横綱です。

実力の伯仲した二人の勝負は評判を呼び、相撲ブームが起きました。



大相撲秋場所に合わせて県立秋美術館・浦上記念館を訪れ、阿武松緑之助の浮世絵と対面した阿武松親方（元関脇の益荒男）中央

た。浮世絵といえは美人画、役者絵、風景画が大きな三本の柱ですが、このころから人気力士を描いた浮世絵が多数制作されるようになります。相撲絵がひとつのジャンルとして確立していきます。役者の似顔絵を得意とした勝川春章の作品に、この二人の立会いを描いた作品が残っています。当時の相撲は神社や寺の修理費用をまかなう勸進相撲というのが

名目で、ひとつの場所は10日間、江戸では春・冬に開催され、京・大坂を合わせて年四場所でした。江戸での場所は寺社を転々としていましたが天保四年（1833）に本所回向院境内に定まります。

このとき活躍していたのが第六代横綱・阿武松緑之助で、小野川引退後31年ぶりの横綱登場に再び相撲ブームが起きました。この阿武松は秋藩お抱えの力士です。当時の相撲は武芸と考えられていたもので、有力な力士を召し抱えることを大名たちは誇りとしていたようです。特に優れた力士を召し抱えたのは、秋藩のほか仙台藩、松江藩、久留米藩、熊本藩、鳥取藩、徳島藩、姫路藩、鹿児島藩、丸亀藩などでした。

今回の展覧会では、特に「秋藩お抱えの力士」コーナーを設け、阿武松の他、越ヶ浜岩五郎、黒岩森之助、菊ヶ浜勝蔵といった秋ゆかりの力士の姿絵を御覧いただきました。菊ヶ浜勝蔵は秋出身の力士でもあり、お抱え力士の特権であった大小の刀を腰にした羽織姿で描かれています。

こうした姿絵や取り組みの場面の他、稽古場や支度部屋、棧敷の情景を描いた浮世絵も展示し、江戸時代の相撲の風俗をお楽しみいただけるよう心がけました。

県立秋美術館・浦上記念館  
学芸員 藤村志範

## 山口県立秋美術館・浦上記念館だより

青春の浮世絵師

### 鈴木春信展

江戸のカラリスト登場！  
11月2日（土）～12月8日（日）

江戸中期に花開いた錦絵の第一人者鈴木春信。恋人達、母と子などを題材に、詩的で洗練されたイメージと江戸っ子らしい洒落の世界を豊かに築きあげた256点の作品を紹介。

入館料 一般1000円、学生800円



「夜の梅」メトロポリタン美術館

### 小企画展示

華やかな明代陶磁器  
12月13日～平成15年4月6日  
北斎・広重・国芳 富士の風景  
12月13日～平成15年1月26日



「雪中相合傘」  
ミネアポリス美術館

開館時間 午前9時～午後5時休館日 月曜日  
問い合わせ 山口県立秋美術館・浦上記念館  
(0838・24・2400)

### 所蔵作品

#### 初の中国展示！

県と中国・山東省の友好20周年を記念して県立秋美術館・浦上記念館が所蔵する浮世絵の名品展を、11月から12月に山東省済南市と上海市で開催されることが決定

した。同美術館の所蔵作品の海外での展示は初めて。「浮世絵版画の流れ」と「浮世絵に描かれた中国」の2部構成で87点を展示する。

日程  
11月3日～26日 済南市 山東省博物館  
12月2日～15日 上海市 上海魯迅記念館

# 情報アラカルト

## 関東地区

- **からたち会関東支部総会**  
からたち会関東支部総会を次のとおり開催します。  
とき 11月19日(火) 午後3時30分  
ところ 東京都新宿区西新宿 新宿センタービル51階
- **たちばな会関東支部総会**  
たちばな会関東支部総会を次のとおり開催します。  
とき 12月6日(金) 午後6時30分  
ところ 東京都港区南青山 はあといん乃木坂
- **第34回日展**  
萩焼作家・吉賀将夫の作品が展示されます。  
とき 11月2日(土)～24日(日)  
ところ 東京都台東区上野公園 東京都美術館
- **内村幹雄作陶展**  
萩焼作家・内村幹雄の作品が展示されます。  
とき 11月19日(火)～25日(月)  
ところ 東京都豊島区三越池袋店
- **大屋窯が提案するホームパーティー**  
大屋窯の作品が展示されます。

とき 11月20日(水)～12月3日(火)  
ところ 東京都日本橋 高島屋7F日本クラフトコーナー

■ **岡田裕茶陶展**  
萩焼作家・岡田裕の作品が展示されます。  
とき 1月22日(水)～27日(月)  
ところ 鎌倉市鶴岡八幡宮前 黒田陶苑

## 信越・北陸地方

- **三輪和彦 和紙の茶室で**  
萩焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。  
とき 11月10日(日)  
ところ 長野県上田市古里パラスオ宝来
- **シルバー・ジュエル展**  
大屋窯の浜中孝子のリング、プレスレットなど手作りアクセサリーを展示します。  
とき 11月1日(金)～17日(日)  
ところ 島根県益田市西平原町 草花舎
- **守繁栄徹・徹 父子展**

## 中国地区

萩焼作家・守繁栄徹、守繁徹の作品が展示されます。  
とき 12月3日(火)～9日(月)  
ところ 広島県広島市 三越7F 三越画廊

## 九州地区

- **濱中史郎 萩 大屋窯の陶器、磁器&李朝家具展**  
大屋窯の濱中史郎の作品が展示されます。  
とき 11月22日(金)～25日(月) 午前9時～午後9時  
ところ 福岡県福岡市中央区天神 警固神社内 望雲
- **特別展「国宝」**  
毛利氏のかつての栄誉を今に伝える数々の宝物のうち、特にその重要性が国内外で指摘されている国宝・重要文化財等を紹介します。  
とき 11月1日(金)～12月1日(日) 午前9時～午後5時  
ところ 毛利博物館  
入館料 1000円(小中学生は半額)

## 山口県関係

とき 11月22日(金) 午後6時30分  
ところ 下関市彦島 南風泊活魚センター

## 萩市関係

- **「じやらんじやらん展 エスニックコレクション」**  
インド綿、タイシルク、インドシルク、手織布など自然素材を使ったエスニックファッションを紹介します。  
とき 11月15日(金)～19日(火) 午前10時～午後6時  
ところ 萩市土原長屋門珈琲カフェイカル内ギャラリー草莽
- **萩・第九演奏会**  
萩市制施行70周年を記念して、ルーマニア国立放送室内管弦楽団による第九演奏会が開催されます。  
とき 11月24日(日) 午後6時30分(午後6時開場)  
ところ 萩市民館  
入場料 一般3000円、高校生以下1000円  
※当日500円増
- **萩クロマグロトーナメント**  
クロマグロが回遊・滞在する日本有数の好漁場の一つとされる見島漁場で萩クロマグロトーナメントが開催されます。  
とき 11月24日(日)～25日 午前6時  
ところ 萩市見島沖

## 第49回 日本伝統工芸展

萩焼作家・岡田裕、波多野善蔵、波多野英生、

樋口大桂、松尾操風の作品が展示されます。

金沢展	11月1日(金)～11月10日(日)	石川県立美術館
岡山展	11月14日(木)～12月1日(日)	岡山県立美術館
松江展	12月4日(水)～12月23日(祝)	島根県立美術館
高松展	1月4日(土)～1月19日(日)	香川県文化会館
広島展	1月22日(水)～2月11日(祝)	広島県立美術館
福岡展	2月13日(木)～2月18日(火)	福岡天神岩田屋

## 出版情報

■「吉田松陰 留魂録」古川薫著  
志高く維新を先駆けた思想家吉田松陰が死を前にして牢の中で書いた遺書「留魂録」。死に直面した松陰が悟った死生観を書き記した遺書文学の傑作を紹介する。古川薫の全訳注。講談社学術文庫(大文字版)  
217ページ。  
定価 820円(税別)

発行 講談社

■「長州奇兵隊 勝者のなかの敗者たち」一坂太郎著  
下関市東行記念館学芸員にして高杉晋作研究者である著者が奇兵隊にスポットをあてる。英雄でもない、偉人でもない、無数の犠牲者たちの姿が今はじめて明かされる。

定価 780円(税別) 中公新書

発行 中央公論新社

■「高杉晋作」童門冬二著

高杉晋作の辞世の句「おもしろきこともなき世をおもしろく」をテーマに、幕末の動乱時代を駆け抜けた波瀾万丈の人生を紹介する。

284ページ。

定価 1600円(税別)

発行 KKベストセラーズ

■「長州五傑」野村武史著

西日本国際交流推進協会専務理

事である著者(萩高等学校出身、下関在住)は、現在長州五傑顕彰碑の建立実行委員会を立ち上げ、山尾庸三生家への設置にむけ募金活動を展開している。

初代内閣総理大臣・伊藤博文、初代外務大臣の井上馨、鉄道布設に尽力した井上勝、日本の通貨制度を確立した遠藤謹助、工学の父といわれる山尾庸三。それぞれの生い立ちや人物像、功績を振り返るとともに県内の維新の史跡を紹介する。

124ページ。

定価 1000円(税別)

発行 内外文化研究所

問い合わせ 野村

(0832・525446)へ



■「笑ふ猫」斉藤定著

元中学校長の著者(秋市大井在住)が、退職後新聞社に投句し採用された俳句に随筆風の文章をつけた俳句集。秋の情景や著者の折々の思いを描く。

197ページ。

定価 2000円(税別)

問い合わせ 斉藤

(08338・280064)へ



■「浜木綿の蔭」山本美智子著

萩・阿武合同短歌会の副会長を長年務め、一昨年病気のため亡くなった著者の遺歌集。自身の病気、手術、そして夫の看病。その時々感動、希望、ときには口に出せない思いをつづる。

288ページ。

発行 妻有野書林

問い合わせ 山本

(0838・251393)



## テレビ情報

■「朝だ！生です旅サラダ」(テレビ朝日)

岸田敏志が萩焼体験、割烹千代、花江茶亭、大照院、藍場川、堀内など、萩の店や見どころを紹介します。

放送予定日 12月14日(土)

午前8時〜9時30分

## 萩・文学散歩

### 連城三紀彦「萩の雨」

今回は「恋文」で第91回直木賞を受賞した作家、連城三紀彦の作品「萩の雨」です。

「西に傾いた陽は、沈むまでの短い間、真夏のような激しい光で土塀を焼いていた。土塀の瓦へと荒波のように、生い繁った夏蜜柑の葉が襲いかかっていた」



情緒をもつ6つの地を舞台として様々な愛の形を詩情豊かに描いた短編集の表題作「萩の雨」は、昭和61年の「小説現代」5月号に発表される。

22年前、一夜の愛を契った親友の妻である女性から突然電話があり、思い出の萩の町でお会いしたいという。だが、当日彼の前に現れたのはその女性の娘。ミステリアスで幻のような恋情が萩の町を舞台に語られる。

連城三紀彦の資質が、武家屋敷の土塀と人との流れが混然となつた清らかな世界を作り出す。



連城三紀彦は1978年名古屋生まれ。早稲田大学経済学部在学中、ミステリー作家を目指しフランスへ留学。フランス・ミステリー風のプロットと日本情緒がミックスした作風で、映画化された作品も数多い。1984年「恋文」で第91回直木賞を受賞。その後、恋愛小説に筆を奮う。

萩、柳川、会津、盛岡、能登、そして異国北京と、それぞれの

それぞれの幕末維新 (1)

萩市勇隊士 須子小五郎

文久3年(1863)5月、萩藩は攘夷を決行し、関門海峡を通航する外国船を相ついで攻撃しましたが、翌6月には外国船の報復攻撃にあい、大打撃をうけました。この報はすぐに萩城下にもたらされ、城下住人の間では、外国船襲来に対する危機意識が高まりました。自分たちの町は、自分たちの手で守るうと、町人を中心として身分や年齢を問わず萩城下の住人たちが総出で、城下北辺の日本海沿いの菊ヶ浜に約1kmにわたって土塁を築く行動を起こしました。土塁の築造工事は文久3年6月に着工しましたが、これと時を同じくして町兵の取り立ても開始されました。この町兵組織が萩市勇隊で、主に城下の豪商層の子弟たちが参加しました。この時期、市勇隊だけでなく、奇兵隊をはじめとするいわゆる諸隊が藩内各地で結成されます。

須子小五郎は、萩城下浜崎町の豪商須子半兵衛の4男として生まれ、文久3年6月、市勇隊の結成と同時に18歳で入隊しました。市勇隊結成の2か月後の8月18日には、公武合体派の会津藩と薩摩藩が提携して尊王攘夷派の萩藩を京都から追放しました。これに対し、萩藩は京都における政治勢力を



須子小五郎肖像

回復するため、軍勢を上京させることを決定し、瀬戸内海側の宮市(現、防府市)に諸隊を集結させ、その機会をうかがうことになりました。萩市勇隊も軍勢上京の募集に応じ、同年10月、宮市に屯集することになったのです。

小五郎は、この年12月に宮市に赴任伍長に任命され、京都への出撃に備え軍事訓練に励みました。翌元治元年(1864)6月5日、京都で起きた新撰組による尊王攘夷派志士たちへの襲撃事件、池田屋の変をきっかけとして、萩藩はいよいよ京都に向けて進軍を開始し、同年7月19日、禁門の変が勃発しました。禁門の変に参戦した萩藩の軍勢は約2000人、これに対し、幕府をはじめ会津・薩摩両藩を主力する諸藩の軍勢は約6〜7万人でした。萩市勇隊は隊長の宮川彦八と50人の隊士からなり、国司信濃の陣営に属し参戦しました。御所の西側に位置する中立売門前で激戦が展開され、市勇隊は16人の戦死者を出しました。その中の一人に、小五郎も含まれていたのです。戦闘中、小五郎は酒屋の前で膝口を撃たれて倒れましたが、また起きあがって酒屋の中へ駆けこみまわりました。そして、店先にあつた置き座に腰をかけさせ、焼酎で傷口を洗い、隊長の彦八が傷口を吸いました。ところが、酒屋の格子を撃ちぬいて飛んできた弾が小五郎の膝頭にあたり、アツといって後ろへ倒れました。小五郎はもはやこの傷では助かれないと覚悟し、奥にはついで

き割腹して果てたといひます。弱冠19歳でした。

小五郎が京都へ進発する前、宮市屯集中にしたためた長兄清九郎あての手紙が2通残されています。元治元年3月9日の手紙には、兄に小遣いを送ってほしいと要求しています。その理由として、先日から気分が悪く薬代が入用だといっています。ついで、同年3月19日の手紙には、小遣いのお札と気分も良くなって安心してくれといい、近々市勇隊も上京することになるので、少しだけでも萩へ帰りたいと望郷の念を募らせています。しかし、隊中では帰省はたいへん難しく、帰省できる口実をつくるため、先祖の法事や家族が病気であるという手紙をよこしてくれと頼んでいます。手紙からは、戦場へ赴こうとしている若い兵士の赤裸々な気持ちにがにじみ出ています。禁門の変では、萩藩の戦死者の遺体はそのまま放置され、遺骨を故郷へ持ち帰ることができませんでした。長兄の清九郎は、明治4年(1871)小五郎の肖像を絵師大庭学僊に描かせ、弟の事蹟を後世に伝えることになりました。須子家では、いまだにこの肖像と京都霊山(京都市東山区)にまつられている小五郎の墓碑の拓本を、毎年盆に床の間にかけて小五郎をしのび、その霊をうっています。

萩市郷土博物館 樋口尚樹

Topics

萩陶芸家協会選抜展開催  
日本橋三越



半伽思惟 (三輪龍作)

10月8日から28日まで、日本橋三越本店(東京都)工芸サロンで、萩焼作家30人による萩陶芸家協会選抜展が開催されました。

会場では現代の萩焼を代表する作家の力作が一堂に展示され、多くの来場者で賑わい、山口県のテレビ放送局も取材に駆けつけるなど好評のうちに終了しました。



萩茶碗 (大和保男)